

自分の大切な価値観は？



自分が大切にしたい価値観が書かれたカードを手元に残す「価値観カードゲーム」を体験する学生たち

八学大生 ゲームで再確認

八戸

県は24日、八戸学院大学の学生と本県の魅力を考える「YES! AOMORI」ワークショップを同大で開いた。学生たちは社会人との対話やカードゲームなどを通じて自分が大切にしたい価値観について考え、将来暮らす場所や働く場所に思いを巡らせた。

若者の県内定着を目的とした事業の一環で、同大地域経営学科2、3年生26人が参加した。学生たちは8グループに分かれ、県が考案した「価値観カードゲーム」を体験。「ゆとりある暮らし」「出世」「家庭生活」「起業」などと書かれたカードの山から1枚ずつ引き、自分が

大切にしたい価値観が書かれたカードを5枚手元に残した。その後、価値観を具体化して用紙に記入し、それを実現するのに適している場所を選んだ。

「憧れの仕事に就く」「都会的な趣味」などのカードを選んだ2年の佐々木ひろさん(19)は「公務員志望で、地域に貢献したい気持ちなどを再確認できた。自分の仕事の理想が見えた気がする」と話した。

また南部町でカフェを運営する合同会社「南部どき」代表社員根市大樹さんが講演。海外の複数の国を訪れたり複数の職種で働いたりした経験を踏まえ「いろんな体験をする中で『面白い』と思うものが自分の価値になった。どこで何をしたいのか、どこで価値をつくっていくのかを考えることが大事」と学生に語りかけた。

(千葉真由美)